高崎市議会
新風会報
SHINPU KAIHO
令和３年夏号
発行所　高崎市議会新風会広報局
発行責任　新風会広報局
〒370-8501　群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
http://www.shinpukai.com/

乗附・片岡・寺尾・南八幡の４ルートで「おとしよりぐるりんタクシー」８月１日から運行開始

本市では、昨年６月より高齢化率の高い倉渕・榛名・吉井地域において、無料の巡回タクシー「おとしよりぐるりんタクシー」を運行しておりますが、新たに、乗附・片岡・寺尾・南八幡の４ルートの運行を８月１日より開始することとなりました。病院やスーパーなどへの移動手段として、一人でも多くの交通弱者の方の支えになればと願っております。

◎おとしよりぐるりんタクシーの特徴

- ルート上ならどこでも乗り降り自由。乗りたいときは、ルート上で手を挙げてください。
- 料金は無料で誰でも利用できます。車いすの人もご乗車頂けます。
- 利用登録や事前予約は不要です。
- 午前９時～午後５時に毎日運行。約40分間隔でルート上をぐるぐる走ります。

タクシーの現在位置は、電話とインターネットで確認できます

▼専用ダイヤルで確認

- 乗附・片岡・寺尾・南八幡ルート（8月1日から）……☎381-8898
- 倉渕ルート……☎386-9561
- 榛名ルート……☎386-9564
- 吉井ルート……☎386-9567

◀スマートフォンなどで確認できます

位置情報確認システムから現在位置を確認できます。
地図上にルートや乗車できる人数が表示されます。
https://doconeel.com/takasaki/

6月定例会

6月10日から6月24日まで第３回定例会が行われ、報告５件、議案31件が審議された。

一般会計補正予算

本議会において補正予算として可決された内容は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、特に厳しい状況にある低所得の子育て世帯に対し、児童１人当たり一律５万円の金を支給する「低所得の子育て世帯生活支援特別給付金」約３億円。その他、「まちなか商店リニューアル助成金」６８００万円や「職場環境改善事業補助金」１億６９００万円など。「まちなか商店リニューアル助成金」と「職場環境改善事業補助金」はいずれも、例年大人気の助成メニューとなっており、今年も定員を超える申請があった。そのため、申請受付者全員に対して、支給を行うために補正を行った。歳入歳出それぞれ29億６１４万円を追加し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ、１６８４億１８１３万円とした。

5月臨時議会

令和３年第２回臨時議会が５月18日に開かれた。臨時議会に併せ、会派役員の変更が行われた。内容については、最終ページに記載した。

臨時議会の概要

議長、副議長の選挙が行われ、議長に白石隆夫議員、副議長に片貝喜一郎議員が選出された。また、各常任委員会委員および議会運営委員会の委員が選任された。議案等の審議では、報告１件、承認５件、議案３件が承認・可決・同意された。

高崎市議会

議長　白石 隆夫

副議長　片貝 喜一郎

委員長　後閑 賢二

総務常任委員会

副委員長　丸山 芳典
委員　片貝喜一郎　長壁 真樹　松本 賢一　石川 徹

教育福祉常任委員会

副委員長　樋口 哲郎
委員　根岸 赴夫　飯塚 邦広　白石 隆夫　丸山 和久

市民経済常任委員会

副委員長　大河原 吉明
委員長　後藤 彰
委員　時田 裕之　大竹 隆一

建設水道常任委員会

委員長　清水 明夫
委員　青木 和也　渡邊 幹治　後閑 太一　柴田 和正　田中 治男　柄沢 髙男　柴田 正夫

議会運営委員会

副委員長　後藤 彰
委員長　松本 賢一
委員　清水 明夫　片貝 喜一郎　時田 裕之　長壁 真樹　石川 徹

広報委員会

委員　大河原 吉明　青木 和也　丸山 芳典　樋口 哲郎

新風会からのごあいさつ

新型コロナウイルスの感染が拡大してから、2回目の夏がやってきました。今年も猛暑が続く事が予想されますので、みなさまにおかれましては、こまめな水分補給・温度管理によって、十分な熱中症対策を講じていただきますようお願いいたします。また、飛沫拡散防止対策としてマスクの着用が引き続き求められますが、マスクの着用は、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなど、身体に負担がかかることがあります。高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがありますので、屋外で人と十分な距離（2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずすよう心がけてください。（参照：厚生労働省『「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント』）

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、本市における夏の一大行事である「高崎まつり」も中止（花火大会のみ開催）が決定しました。各地域におきましても、夏の恒例行事を中止された地域も多いことと思います。みなさまのお子様やお孫様も、せっかくの夏休みにも関わらず、例年と比べて楽しみが少なく、我慢を強いられる状況も多いのではないでしょうか。一刻も早く日常が訪れることを祈るばかりです。

くれぐれも、熱中症対策、また新型コロナウイルス感染症予防に取り組んでいただいた上で、みなさまが健やかで充実した夏をお過ごしいただけます事を、心よりご祈念申し上げます。

新型コロナウイルスのワクチン接種について

本市では、国の方針に基づき、速やかにワクチンを接種できるよう準備を進めています。

個別接種

約200か所の診療所や病院などで接種できます。

集団接種

11月28日までの土・日曜日、祝日に実施しています。会場は次の8か所です。

●市役所本庁　●市総合保健センター　●消防局屋内訓練場　●榛名・倉渕保健センター　●箕郷保健センター　●群馬保健センター　●新町保健センター　●吉井保健センター

群馬県の集団接種

18歳以上の人は、県がGメッセ群馬で行う集団接種も受けられます。(9月30日㈭まで)市が行う接種と、予約方法や使用するワクチンが異なります。詳しくは、ぐんま県営ワクチン接種センター問合せ等窓口(0570-001-720)まで

満12歳以上の小中学生を対象とした任意のワクチン接種

本市は、市内在住の満12歳以上の小中学生のワクチン接種について、市内医療機関での個別接種及び市が設置する会場での集団接種を行います。「あくまで任意の接種であること」、「必ず保護者の同意を得ること」という国の方針を踏まえ、学校での集団接種は行いません。希望者がワクチンの接種を夏休み期間中に受けられるよう、以下のとおり接種の予約を開始しました。

予約受付開始日:7月12日㈪ 午前9時から
接種開始日:7月20日㈫から

接種スケジュール

対　象	予　約	接　種
60歳以上	受け付け中	実施中
基礎疾患のある12歳～59歳	受け付け中※	実施中
50歳～59歳	受け付け中	実施中
40歳～49歳	受け付け中	実施中
12歳以上の小・中学生	受け付け中	実施中
上記以外の人(12歳未満を除く)	年齢を10歳ごとに区切って進めます。予約開始日・接種開始日は決まり次第ハガキでお知らせします。 ※ワクチンの供給量を踏まえて決定します。	

※ 基礎疾患の申告が必要です。申告の方法など詳しくは、クーポン券(接種券)に同封の通知を確認してください。

ワクチン接種に関する相談窓口

●一般的な相談やクーポン券(接種券)の再発行を受け付け

高崎市コロナワクチン問合せ電話
☎027-395-7300
(月～金曜日、午前9時～午後6時)

障害のある人の相談は、障害者支援SOSセンター・ばるーん(市総合保健センター2階・火～日曜日☎325-0111)へ。FAX(325-0112)やEメール(soscenter@city.takasaki.gunma.jp)でも受け付けています。

●ワクチン接種後の副反応や、副反応による医療機関の受診など専門的な相談を受け付け

ぐんまコロナワクチンダイヤル
☎0570-783-910
(24時間)

県が開設した窓口で、看護師が相談を受け付け。英語や中国語など20か国語に対応しています。聴覚に障害のある人の相談は、FAX(027-223-7872)やEメール(corona-vaccine@pref.gunma.lg.jp)でも受け付けています。

新町駅にエレベーター完成！住民要望の実現

高齢者や障害者、大きな荷物を持つ人、ベビーカーを持った子供連れの人などの利便性を高めるよう、高崎市がJR新町駅に整備を進めてきたエレベーターが完成した。5月25日に記念式典が開催され、供用開始された。

エレベーターは11人乗りで上り線、下り線ホームに各1基。事業費は約3億800万円。令和2年3月から設置工事が行われていた。

新町駅は一日当たりの平均乗降客数が7,456人(令和元年度末)と多く、以前から多くの要望が寄せられていた。

平成27年より、新風会から富岡賢治市長に対し、早期の設置を要望してきて、この度実現した。

榛名南麓スカイライン開通

群馬県と高崎市が榛名山南麓に整備を進めてきた広域農道(14・1キロ)が6月12日に全線開通した。この道は、榛名地域と箕郷地域を東西に結び、片側1車線で、幅員は7メートル。総事業費は約125億円。1994年度に整備が始まり、四半世紀を超えて完成した。この道は、通称「榛名フルーツライン」と呼ばれてきたが、全線開通を迎えるにあたり、沿線の小学校に道路愛称を募集して、「榛名南麓スカイライン」が採用となった。この道により、農産物の流通の効率化が図られるほか、観光客の利便性の向上も期待される。

土砂災害危険箇所緊急点検を実施

7月3日に発生した静岡県熱海市の土石流災害を受けて、本市では、いち早く「土砂災害危険箇所緊急点検」を実施する方針を打ち出し、7月6日から点検を開始した。

今回の点検は、熱海市の災害が、山間部の開発行為によって造成された場所が起点となっている事から、土砂災害の危険性の高い、土砂災害警戒区域及び近隣で土地造成を伴う開発許可申請及び事前協議があった箇所、山間部における大規模開発、大規模盛土造成地、砂防堰堤などを想定し点検するもの。

点検の内容は、土砂崩れの痕跡、地面のひび割れや凹凸、斜面の亀裂やはらみ、湧水の濁り、堰堤の土砂堆積、河路の閉塞状況、下流域における人家の有無等の確認であり、職員が目視により行う。

一般質問

※以下、質問順で掲載しております。こちらに掲載している内容は、質問と答弁の一部です。全文および録画配信が高崎市議会ホームページにて随時アップされますので、そちらも是非ご覧くださいませ。

議：議員発言
執：執行部答弁

時田 裕之

新型コロナウィルスに対する本市の取り組みについて

議 家族等をPCR検査に連れて行く時の対応や、感染者が出た場合の公民館などの利用について。

執 運転席と対角線に窓を開け、お互いがマスクを着用し、会話をしないよう指導、市有施設の閉鎖に関しては、陽性患者が利用した場合、消毒等を実施し、安全確認ができるまでの間は一時的に閉鎖することもある。

議 中小事業者等への支援策の現状や、本市の取り組みについて。

執 まちなか経済情報センターで多岐にわたる相談にワンストップで対応できる総合窓口として支援している。

議 今年9月に開催が予定されている高崎まつりは、どのような検討が行われているのか。

執 どのように感染防止対策を行えば安全に実施できるか、関係団体の皆様と協議している。

議 必要な感染防止対策を施したうえで、日程の延期も視野に入れて考えて頂きたい。

※7月15日に高崎まつり中止が発表されました。

本市の管理地の活用について

議 本市が管理しているくらぶちこども天文台付近や榛名湖周辺にキャンプ場が設置出来ないか。

執 倉渕には、わらび平森林公園がある、こちらをご利用していただき、今後の研究課題とする。

録画配信 全文掲載

http://takasaki.gijiroku.com/voices/g07_Shitsumon.asp

大河原 吉明

コロナ禍における子どもたちの教育環境について

議 コロナ禍における小中学校の教育環境の現状は。

執 各学校では、授業において長時間の対面による話合いの代わりにノートやタブレット端末を活用した意見交流を行っている。また、陸上大会等の学校行事では、感染症対策を講じた上で子どもたちが活躍できる活動を実施するなど、感染症対策と教育活動を両立させた取り組みを行っている。

議 GIGAスクール構想の一環で児童・生徒に配備されたタブレット端末の活用状況と今後の展開は。

執 各学校では、端末を活用して教師が資料を提示したり、児童・生徒の意見を集約して全体で共有したり、児童・生徒がインターネットを活用して調べ事をするなど、学習効果を高めるための活用が進められている。また、オンラインによって、離れた場所での交流が可能になるなど、様々な使い方があるため、今後は学校外においても徐々に広げていく。

議 すべてが端末頼みになってはいけないが、この活用によって、子どもたちの孤立感をなくすことや、いつでも相談できる体制構築を、積極的にご検討いただきたい。

後藤 彰

小中学校における暑さ・紫外線対策について

議 体育の授業中のマスクの着用について。

執 運動時のマスク着用による身体へのリスクを考慮し、体育の授業におけるマスクの着用は必要ないことや、マスクを外しての活動の際には、間隔を十分確保するなどの感染防止対策を講じるよう各学校へ周知している。

議 学校における紫外線への対策について。

執 各学校では、屋外での活動の際は、帽子や衣服等で調節したり、日差しの強い時間帯での活動は控えたりするなどの対策をとっている。

議 登下校時や体育の授業でのサングラスや日傘導入の考えは。

執 最適な紫外線量には個人差があることや、子どものうちに浴びた紫外線の影響が何十年も経ってから現れることが指摘されている。また、サングラスの使用については、使用を誤り逆効果になることも例示されていることから、当面は医師の指導助言の下、児童生徒の健康状況に応じた個別の対応をしていきたいと考えている。また日傘についても、保護者と連携しながら、個別の対応をしていきたいと考えている。

樋口 哲郎

「農業者支援」について

議 本市における荒廃農地の状況は。

執 令和2年度は農地8311ヘクタールのうち598ヘクタール約7・2%の荒廃農地が確認されており、平成30年から令和2年の3年間で19ヘクタール増加している。

議 今年度新たに創設された荒廃農地の再生に向けた本市独自の支援策「農地再生推進事業」の基本的な考え方と具体的な支援内容は。

執 地域農業の維持・継続を図っていく為、農用地区域内の高度利用を積極的に進める必要があると考え、事業を創設した。支援の対象農地は、農振農用地であり農業委員会が荒廃農地と認めた農地、もしくは判断は受けていないが同程度の農地などである。支援内容は、樹木の伐採や機械導入等の経費を見込んでおり、上限はあるが補助率3分の2の支援を考えている。

議 「農地再生推進事業」の運用開始から2カ月が経過し、どの程度相談等があるか伺う。

執 農地の隣接地等に荒廃農地があり困っている方や規模拡大を検討している方から、現時点で21箇所、約5ヘクタールについて相談があり現地の確認や事業計画の相談等を行っている状況である。

丸山 芳典

くらぶち英語村について

議 今年4年目で運営も順調と聞いているが、子ども達の様子とスタッフが配慮している点を伺いたい。

執 掃除、洗濯、食事の準備・片づけなど日常生活がスムーズに行えている。異年齢の子ども達の共同生活のため、人間関係で多少のトラブルもあるが、子ども達は仲が良く、やる気を持って取り組んでいる。毎日小学生は片道4キロを徒歩で、中学生は片道6キロを自転車で登校している。親元を離れ、生活は子ども達自身で行うため、子ども達はストレスを感じ、ホームシックになったり、自由な時間が欲しくなるなどあるが、指導員は子どもの話をひたすら聴き、アドバイスや一緒にスポーツなどをして気分転換できる工夫をしている。

議 地域との関わりについて伺いたい。

執 倉渕小チャレンジスクールと倉渕中くらぶちタイムにそれぞれ英語村のスタッフを派遣し、小・中学生が英語に親しむ取り組みを行っている。川浦地区のどんど焼きは、英語村開設をきっかけに令和元年に再開した。地元の高齢者を招いての簡単な英会話レッスンには、204名が参加し大変好評だった。他にも、諏訪神社お祭り、ホタル鑑賞、道祖神巡りなど、地域イベントに積極的に参加している。

長壁 真樹

脱炭素社会へ向けての本市の取り組みについて

議 本市に適していると考えられる太陽光発電の発電量、また農地へのシェアリング設置の推移は。

執 2020年12月までで28万Kw、シェアリングはこの5年間で55件1万3000Kwになっている。

議 2000㎡設置以上の許可権限は県、農地や転用では農政部・農業委員会等、担当部署が違い、設置において地域でのトラブルも発生していることから本市において再生可能エネルギーの担当窓口を一元化し小規模でも届け出制と住民説明会の開催を。

執 住民とのトラブル事案に対しては適切に対応し、ガイドラインの周知と関係部署で連携し情報共有をはかっている。

議 太陽光発電設置にあたっては小規模でも届け出制と住民説明会を義務化し、PPA事業など政策チームにて研究すること、本市の2／3の面積が山林、林業の振興もCO2の吸収源に有効、緑の県民税・森林環境税の目的が違い県民税の継続要望、公園や道路際等の伐採木の薪ストーブ等へ活用し処理費用の軽減、林業振興に作業道開設への補助を。

清水 明夫

東京人口流出と本市の移住受入施策

議 本市の移住相談窓口の相談状況についてお聞きしたい。

執 「移住支援金制度」は、今年度からテレワークを行う方も対象となり、5月末時点で早くも5件の仮申請があった。今後はオンライン相談窓口などを活用し、移住を促進していきたい。

議 WEBサイト「高崎市移住情報」にはアクセス解析ソフトも導入されている事が見受けられた。単純なアクセス数だけでなく、どの地域からアクセスされているか、閲覧者の年代データなどが分かるはず。仮説・検証を繰り返し、より多くの移住検討者に情報が行き届く事を期待する。

コロナ禍における地域コミュニティ施策

議 協議体活動の現状について伺いたい。

執 コロナ禍においては、この協議体の活動も制限され、会議を休止せざるを得ない状況が続いているが、一部では住民主体による活動を継続している。

議 最も危惧するのは、孤立する方が増える事。LINEが使えれば、遠く離れたお孫さんとテレビ電話が出来る。3G回線のガラケーが数年以内に使用不可になるため、スマホやLINEの普及に取り組んで頂きたい。

根岸 赴夫

SDGs（持続可能な社会の実現）中でも、健康で豊かな生活を送るうえで何よりも重要な地球環境を守るために、環境整備は最も重要。環境面における昨今の国内外の情勢は。

執 具体的な施策として、地球温暖化対策計画やエネルギー基本計画の見直しが行われている。今後も温室効果ガス削減に向けた国際的な動きは加速してゆくものと思われる。

議 本市の地球環境対策について問う。

執 太陽光発電システム設置費用の一部補助、市有施設の新設・建て替えの際の太陽光発電システムの導入等を進めている。公共交通の整備、たかチャリの実施「3R」を推進し、ごみの減量化・資源化により、ごみの燃焼に伴い発生する温室効果ガスの抑制に努めている。

議 本市のSDGs「持続可能な社会の創り手を生み育てる教育」について問う。

執 市教育委員会では、平成10年より小学校環境学習副読本として「地球とともに」を配布しており、平成29年度からは新たに持続可能な社会に関する内容を小学4年生に加えた。健康で幸せに暮らすために何ができるか、何をすればよいのか等を考える学習に取り組んでいる。

青木 和也

本市における部活動について

議 各校3名を基準として配置を進めている部活動指導員の効果は。

執 各学校からは、部活動指導員の配置により、苦手な領域の指導を行っている教職員の心理的な負担軽減や生徒の競技における技能の質的向上等に効果があるとの報告を受けている。また、部活動指導員が休日に勤務することで、休日の部活指導に携わる教職員の人数を減らすことができ、部活動に係る勤務時間の軽減につながっている。

議 休日の部活動に関わっている教職員の全体的な傾向としての勤務時間や負担の具体的な内容は。

執 休日の部活動に係る教職員の勤務時間については、県の調査によると平均5時間程度との報告がある。同様の調査では、部活動に関わる教職員の現状として、『部活動の土日祝日の大会引率や役員業務等が、部活動に関わる教職員の負担となることもある』と報告されている。

議 現在、国では令和5年度以降の「休日の部活動の段階的な地域移行」による部活動改革を進めている。部活動の主役である生徒からの視点を最重点に置き、本市でも持続可能な部活動の運営に向けて引き続き、研究を深めてもらいたい。

コロナ禍における地方の活路 ～明るい未来をつくるために～

Column 連載コラム

未だ先の見えないコロナ禍において、本市においてもまだまだ先の見えない状態が続いています。一刻も早く明るい未来を迎えるにあたり、今現在国、県レベルで取られている対策、また今後の取り組みについて、福田達夫衆議院議員、小渕優子衆議院議員、福重隆浩群馬県議会議員をお招きして、意見交換を致しました。

福田代議士との意見交換

福田代議士との意見交換の様子

福田代議士からは「感染拡大により影響を受けている店舗、中小企業、各種施設の実情、またそれに伴う人々の生活の変化などについて、足を使って様々な声を聴かせていただいてまいりました。国を支えているのは地域であり、地域を支えているのは、そこで暮らし、そこで働く市民の皆様です。国と市の協力体制を整え、特にコロナの影響を強く受けている医療、福祉、経済、農業、教育分野において、地域の実情に合わせた国の政策を強く推し進めてまいります。」このようなお話を頂きました。

小渕代議士との意見交換

小渕代議士との意見交換の様子

小渕代議士からは「コロナ禍において、マイクロツーリズムという言葉が浸透してきましたが、群馬の魅力を再認識し、『郷土愛』を改めて持っていただくことで、地元に戻り、地元で生活することへと繋げたい。店舗を持たず運営できるインターネット販売を利用し、地元の特産物等をPRしたり、テレワークの推進と併せて『田舎暮らし』を積極的に推奨。地方における医療提供体制の充実を図るとともに、コロナ禍での教育環境の質を高めていく必要がある。」このようなお話を頂きました。

福重県議との意見交換

福重県議との意見交換の様子

福重県議からは「今までは東京への一極集中により、経済の活力というものが培われてきた面があると思います。しかしコロナ禍により状況は変化し、分散化が一つのキーワードになってきました。その意味において、今後、地方都市の存在感はますます高まっていくと考えます。私は国とのパイプ役として、新風会さんをはじめとする高崎市議会議員の皆さん方と共に、群馬・高崎の発展のため力を尽くして参ります。」このようなお話を頂きました。

新風会としての要望

3人の議員との意見交換を通じて、一刻も早い新型コロナウイルスの収束を願い、一日も早く市民のみなさまが平穏な暮らしを取り戻せるよう、県・国に対して要望させていただくとともに、新風会も連携し邁進していく事をお誓いし、それぞれの意見交換を終わりました。新風会としては、今後も関係各所と連携し、市民福祉の向上に努めてまいります。

※意見交換会は、アクリル板設置、アルコール消毒、会場内換気、ソーシャルディスタンスの確保、マスク着用（講師以外）などのコロナ対策を講じた上で開催しております。

新風会所属議員一覧　～市政に関するご相談はお近くの議員まで～

会 長
田中 治男
たなか はるお
高崎市八幡原町2054
☎027-346-3287

副会長
渡邊 幹治
わたなべ かんじ
高崎市倉賀野町1684
☎027-346-6133

副会長
根岸 赴夫
ねぎし ゆきお
高崎市上中居町407-5
☎027-326-0635

幹事長
石川 徹
いしかわ とおる
高崎市箕郷町東明屋106-1
☎027-371-3344

副幹事長
時田 裕之
ときた ひろゆき
高崎市浜川町1799
☎090-4948-4450 ☎027-344-4276

政調会長
長壁 真樹
おさかべ しんじ
高崎市中室田町甲525
☎027-374-3384

副政調会長
後藤 彰
ごとう あきら
高崎市乗附町1563-27
☎027-328-5100

議会対策委員長
松本 賢一
まつもと けんいち
高崎市新町1652-5
☎090-6033-8421

広 報
清水 明夫
しみず あきお
高崎市根小屋町2095-3
☎050-5375-2532

会 計
丸山 芳典
まるやま よしのり
高崎市倉渕町権田138-1
☎090-2725-0817

会計監査
後閑 太一
ごかん たいち
高崎市十文字町150-1
☎027-374-0416

顧 問
柴田 和正
しばた かずまさ
高崎市金井淵町259
☎027-343-7161

顧 問
柴田 正夫
しばた まさお
高崎市下中居町47
☎027-322-8347

顧 問
丸山 和久
まるやま かずひさ
高崎市江木町1111-1
☎027-323-8855

後閑 賢二
ごかん けんじ
高崎市塚田町222-2
☎027-373-2214

柄沢 髙男
からさわ たかお
高崎市上里見町197
☎027-374-4304

白石 隆夫
しらいし たかお
高崎市石原町4049
☎027-325-5983

飯塚 邦広
いいづか くにひろ
高崎市吉井町岩崎687-3
☎090-5427-2201

大竹 隆一
おおたけ りゅういち
高崎市吉井町片山895-2
☎027-387-4390

片貝 喜一郎
かたかい きいちろう
高崎市和田町6-3
☎090-1808-7448

樋口 哲郎
ひぐち てつろう
高崎市吉井町馬庭827-1
☎090-3245-0195

大河原 吉明
おおかわら よしあき
高崎市京目町1634-6
☎090-9385-8680

青木 和也
あおき かずや
高崎市福島町740-7
☎090-5442-8248

高崎市議会 新風会
〒370-8501
群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
http://www.shinpukai.com/